

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	電気・電子回路学第一演習		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	安井 正憲		
居室	東6 - 936		

公開E-Mail	授業関連Webページ
中村信行(F1クラス) 安井正憲(F2クラス)	

【主題および達成目標】
電気・電子回路学第一で学ぶ内容について、講義と平行して演習を行う。

【前もって履修しておくべき科目】
電気・電子回路学第一（同学期に開講されている）

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
演習問題は随時プリントを配布する。 参考書：基礎電気回路 内藤喜之著 昭晃堂 その他 多くの「電気回路」に関する書籍が図書館に所蔵されている。 自分に合ったものを探して参考書とすればよい。

【授業内容とその進め方】
電気・電子回路学第一の講義とほぼ連携した内容について、演習内容の簡単な補足を行い、演習問題を解いていく。 (0) 復習

電気通信大学 平成19年度シラバス

電荷、電流、電位、等

(1) 直流回路

オームの法則、キルヒホッフの法則、重ねの理 等

(2) 交流回路

複素数表示、回路素子の性質、色々な回路、一般回路の定理 等

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

100%近い出席が必要条件(しかしそれだけでは十分条件ではない)である。

遅刻しないようにすること。

成績は演習の解答やレポートまたはテストなどから総合して判定する。

レポートの提出期限を守る。また再提出するよう指示された場合は

必ず提出すること。

【オフィスアワー：授業相談】

随時(あらかじめメールなどで連絡しておくこと)

【学生へのメッセージ】

電通大の学生として電気・電子回路学の知識は必須のものと

心得てほしい。講義で学んだ内容を自分のものとするには、

相当の努力が必要であり、この演習でさらに理解を深めてもらいたい。

【その他】